

日本本土から南西諸島、台湾まで飛行する渡蝶の
アサギマダラを放蝶します
 ～第3回ピオトープ観察会～

概要

○国営備北丘陵公園では小学生の総合的な学習として「ピオトープ観察会」を開催しています。庄原市立東小学校の3年生32名と庄原市立高小学校の4年生11名の皆さんが参加し、今年度第3回目の観察会を開催します。

○第1回の学習会（6月8日実施）では園内にアサギマダラを呼び込むため、成虫の食草であるフジバカマを生徒自らが植栽し、10月初旬には、備北丘陵公園内においてアサギマダラを確認する事が出来ました。

○今回の観察会では、庄原市立東小学校及び庄原市立高小学校のみなさんがアサギマダラにマーキングを行い放蝶します。



【観察会の様子】



【アサギマダラ】

【日時】

平成22年10月19日（火）雨天決行
 （庄原市立東小学校）

10:30 観察会開始
 11:20頃 アサギマダラ放蝶

（庄原市立高小学校）

13:30 観察会開始
 14:30頃 アサギマダラ放蝶

【参加小学校】

庄原市立東小学校（3年生32名） 庄原市立高小学校（4年生11名）

お問い合わせ

■ 国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所

副所長（公園担当） 元山 勉（もとやま つとむ）

【担当】公園課長 山口 克己（やまぐち かつみ）

TEL 0824-72-5000 FAX 0824-72-7532 （国営備北丘陵公園分室）

【広報担当】調査設計課長 丹後 浩一（たんご こういち）

TEL 0824-63-4121 FAX 0824-64-2240 （代表）

第3回ビオトープ観察会詳細スケジュール

日時 2010年10月19日(火)

10:30~10:40 (13:30~13:40)

参集殿にて

◇ 先生の紹介

◇ 本日のスケジュールと注意事項

10:40~11:10 (13:40~14:20)

(1) 「旅するチョウ アサギマダラ」の話

アサギマダラを観察ノートへ記録

神垣

「ホタル」の話

祖母井

(高小のみ)

11:20~11:40 (14:30~15:00)

公園内ビオトープ

(2) アサギマダラの放蝶

← 撮影ポイント

11:40~12:00 (15:00~15:30)

(3) 講師のコメント

(4) 『気づきや今日調べたこと学んだことの報告』

・何人かの生徒が発表



※ () が付いていない時間は東小学校のスケジュールで、() 内に記載されている時間は高小学校のスケジュールを示す。

【渡蝶「アサギマダラ」について】

観察会では、日本本土から南西諸島、さらには台湾までの大規模な移動(渡り)を行う蝶として知られるアサギマダラについて学習を行います。

アサギマダラは夏から秋にかけて日本本土を南下し、繁殖した子孫が春に北上する渡蝶で、成虫の羽に放蝶者の名前や連絡先などを記入(マーキング)し固体識別を行うことによって行動経路が解明されています。

平成20年11月には、国営備北丘陵公園内で長野県でマーキングされたアサギマダラが発見され、中国山地沿いでは初となる飛行ルートを確認を行うことができました。



【アサギマダラ】

会場図



ビオトープ観察会会場



国営備北丘陵公園全園図